

ほっとひろばだより 第9号

平成25年7月29日

「ほっとひろば西九大」では、佐賀県での避難生活を送られているご家族を対象に“こころのケア活動”として、小さなお子さんから大人の方々までもが安心して過ごして頂けるような“場”の提供をおこなっています。この「ほっとひろば西九大」も今年の6月で“開設2周年”を迎え、7月末には通算89回目の開催となりました。開設から2年が経過した今でも、多くの方にご利用いただいております。参加者の中には“帰還や転居を決断された方”“佐賀での新たな一歩を踏み出された方”など様々な方がいらっしゃいます。

さらに、本活動は昨年度に引き続き「福島県ふるさとふくしま帰還支援事業」による助成金採択が決定いたしました。今後も、佐賀での生活を送られている皆さんのために、少しでもホッと安心して過ごして頂けるような“場”をご提供できればと思っています。

今回の“ほっとひろばだより（第9号）”では、開設2周年を迎えた一つの節目として、7月13日（土）に夏のイベント企画を開催しましたので、その活動の様子を写真とともにお伝えしたいと思います♪

2周年イベントには、5家族14名に加えて、初回よりご参加いただいている富田万里さん（宮城県人会が代表）にご参加いただきました！

開設2周年 記念イベントを開催しました

7月13日開催（第88回）

大学院生が中心となって企画をおこないました♪



ミッキー&ミニーが遊びに来てくれました



外ではシャボン玉遊びをしました！



スタンプを押したり、切り絵を貼ったりして、手作りのうちわを作りました★



お土産は佐賀県産のお米をプレゼント。皆さんに喜んで頂きました♪



参加者からの声



一人ではないことを改めて感じました。ポツンとさみしくなる時もありますがこのひろばを支えに頑張ります。

話をしたり皆の聞いたりするだけで、気持ちが少し楽になります。



スタッフの声



好きなおもちゃで遊んだり、外で思いっきり動いて遊んだり、一人ひとりがそれぞれの空間を大切に過ごして頂ければ…と思いつつながら活動に参加しています。

活動が終わってから“あ～楽しかったあ！”と笑顔で話してある参加者さんの姿を見ると私たちスタッフも嬉しい気持ちになります。

